



平成 29 年 9 月 1 日

平成 29 年度 スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール (SPH)
「国際観光都市札幌のおもてなし」の講話 実施要項

1. 目的

- ・国際観光都市としての札幌の現状を理解し、1～2月に実施するプレゼンテーションコンテストの準備とする。
- ・札幌では、外国人観光客に対しどんなおもてなしが行われているのかを知り、国際観光都市として今後、発展するためにはどんな工夫ができるかを考える機会とする。

2. 内容

科目『英語会話』では、1～2月に国際交流ユニット3つ目のプロジェクト(裏面10. 参考を参照)として、札幌の特定の場所を選定し、国際的な観光地としての現状を調査、より発展させるための提案についてプレゼンテーションを行う。その事前学習として、「国際観光都市札幌のおもてなし」をテーマに、おもてなしを研究されている大学教授に講話をしていただく。

3. 対象 1 学年全クラス (「英語会話」履修者)

4. 日時 平成 29 年 9 月 8 日 (金) 5 校時

5. 場所 本校 講堂

6. 講師 北星学園大学 短期大学部 英文学科 森越 京子 教授

7. 事前・事後学習

英語会話の講演の前1時間で、事前アンケートを行い、講演後の1時間でアンケートと振り返り学習を行う。

8. 当日の日程 4 時間目 準備 (プロジェクター、スクリーン、マイクの設定)

- 13:00 講師お迎え
- 13:15 廊下整列・移動開始 (椅子・筆記具・しおり持参)
- 13:25 移動完了、講師紹介
- 13:30 講話開始 (講話時間40分)
- 14:10 講話終了・質疑応答
- 14:15 謝辞・講師退場 (代表生徒: 1年A組 ****)
- 14:20 移動開始

9. 費用 講演費用については、SPH事業費より支出する。また、必要に応じて、経費を支出する。



10. 参考（英語会話での SPH に関連した講話以外の取り組み）

・ 3つのプロジェクト

1. Project1: Self Introduction

自己紹介の中で、札幌のお気に入りの場所の紹介とその場所が好きな理由を伝える。

2. Project2: Skit

札幌で外国人観光客に対応する場面を想定し、会話を作成し、発表する。

3. Project3: Presentation

札幌の特定の場所を調査し、現状紹介と国際都市としてより発展させられるような提案をする。

・ 外国人観光客対応プログラム

外国人観光客に使う定型表現を学習し、外国人への対話を行う基礎を身につける。オンラインで質問がランダムに出るソフトウェアを用いて、どの質問が出てもスムーズに答えられるような反応を身につける。